

資材紹介

新発売

ALSUS
オルサス

オルサスKLC25

(過酢酸系除菌剤に最適な動力噴霧器)

主要部品をステンレス化し、過酢酸系除菌剤(ピネパワー)に耐用了『動力噴霧機』です。材料に耐食性の高いSUS316を使用して、メンテナンスが容易な直軸式のポンプを新設計しました。耐食性は塗装にまでこだわっています。

製品寸法：高310×幅460×奥750mm、重量57kg、
射出量25L/分、3相200V2.2KW

詳細はこちら：<https://www.zcss.co.jp/alsus/>

オルサスKLC25

検索

【お問合せ先】

全農畜産サービス株式会社

TEL:03-5245-4871

URL: <https://www.zcss.co.jp/>



これからの季節に 備えて

高温多湿な梅雨を迎えるにあたって、
以下のような飼養管理の心がけをお願いします。

- ① 湿気により給与した飼料がすぐに変敗してしまうため、1回あたりの給与量を調節するなどして、常に新鮮な飼料を給与
- ② 各種疾病や害虫の発生が多くなるため、畜舎内の十分な換気や清掃
- ③ ハエ対策として、こまめな敷料交換や飼槽の清掃
- ④ 気温が高くなる前に、暑熱対策を実施

編集後記



第4回「和牛甲子園」は、リモート開催ではありましたが、全国の牛児たちの熱いエネルギーが伝わってくる大会となりました。自分たちが育てた牛のセリ結果を祈るように見守る姿や、受賞が決まった瞬間の喜びに満ちた表情がとても印象的でした。リモートでも他校との情報交換が活発に行われていたが、また牛児たちが一堂に会し、直接交流を深められる大会が開催できる事を願っています。(T)

表紙写真
農事組合法人伍協牧場の皆さんと、関係者の皆さん、
第4回「和牛甲子園」の誌面より

編集委員

三浦康治／中尾山隆司／剣持和幸／澤 明／佐藤由治／佐藤哲誠
藤田和政／大畑博義／江崎尚二／泉瑞枝／柴田拓起
児玉博士／笹渡翔／岩橋かをり／林真由美／野口英生

発行元

JA全農畜産生産部推進・商品開発課
東京都千代田区大手町1-3-1
TEL03-6271-8236
FAX03-5218-2526

編集協力／株式会社青丹社

デザイン／株式会社バンブー

撮影／内田伸一郎、竹田宗司、富貴塚悠太

執筆／今野靖人

校正／くすのき舎

印刷／大日本印刷株式会社



- ▶ 雨季の楽しみ方を教えてください。
- ▶ 他農場の取り組みで、知りたい事といえば？

スマートフォン等
からも回答いただける
ようになりました！



<https://onl.tw/4EYZ6Jp>

令和3年4月発行(隔月発行)※本誌の無断転載を禁じます

読者の広場

花が咲き、動植物の動きが活発になってきました。
例年のような花見はできませんでしたが、今回は
一度食べてみたいものなどについてお聞きました。

「読者から一言」

- 「防疫対策資材の特集をやってもらいたい。他にも、対策面で有効なものがあるなら紹介をお願いします」
(宮崎県・黒毛和牛 谷川 妃佐子さん)
- 「AIに関する情報があれば。国内、海外も含め教えてほしい」
(京都府・鶏(肉用鶏) ひで吉さん)
- 「生後3週間頃～2カ月齢の子牛の下痢予防と対策。3日目に親から離し、哺乳する子牛のミルクと飼料のバランス調整について教えてほしい」
(岐阜県・和牛繁殖 栄 由佳理さん)

※お寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、誌面制作の参考とさせていただきます。

「読者の広場」には締め切り日までにいただいた分を掲載しています。

Q. 今後、JA全農に期待する事を教えてください。

- 同業者との交流の場や研修など。生産資材が安くなるように考えてもらえると助かります。
(京都府・ブロイラー 三浦 重樹さん)
- 後継者不足、人手不足は大きな課題。しかし、和牛一本でもサラリーマンに負けないような収入もあります。ぜひ、和牛ヘルパー制度の導入を考えてほしい。畜産農家にも休日(切実です!)。
(宮崎県・和牛生産 匿名)
- 配合飼料価格の安定化対策。和牛肉の消費拡大。
(新潟県・和牛 中川 邦昭さん)

Q. 一度食べてみたいものは？
またそれはなぜですか？

- 鯨汁と鯨鍋。酒のあてにしたいと思うから。
(徳島県・阿波とん豚 大村 敏信さん)
- 最上級の和牛肉。どんなに美味しいか味わいたい(肉アレルギーで食べる事ができないので)。
(島根県・和牛 ふくふくさん)
- 「おおいた豊後牛」。ぜひ食べてみたいです。
(宮崎県・和牛繁殖 匿名)

「和牛甲子園」連覇などさまざまな
偉業を成し遂げた牛児たち



同校では牛を
一貫管理している

見てみて！ うちの農場

vol.19

— 高等学校編 —

鹿児島県立市来農芸高等学校

本校では、日本一に輝く「鹿児島黒牛」の継承と発展のため、約80頭の黒毛和種を一貫管理しています。高水準の鹿児島黒牛を作ろうと若雌牛は共進会出品、肥育牛は「健康な牛づくり」と日々奮闘しています。毎年新たな挑戦に挑む、牛への情熱が形となり、第4回「和牛甲子園」で完全優勝する事ができました。「牛と共に夢叶える」を信念に自身と牛と真剣に向き合う姿勢が評価され、たいへん嬉しかったです。これからも、「鹿児島黒牛」繁栄のため、牛と共に歩み続けます。

農場で働くご家族、従業員の方々などを写真とともに紹介します。写真には簡単な説明を書き添えていただき、お気軽に編集部までご送付ください。なお、写真の返却は致しかねます。あらかじめご了承ください。宛先は「〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JA全農畜産生産部推進・商品開発課/ちくさんクラブ21編集部」もしくは、eメール「zz_zk_chikusan_club@zennoh.or.jp」まで。

